※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 1008 |
|---|---|

# 令和５年度　外国語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 外国語 | 深学英語Ａβ | 1 | 第２学年 | Viewpoint Basic 英文読解の着眼点１５ |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・深学Ａβは「読むこと」、「書くこと」という２技能の力をつける授業です。多くの英文に共通する文構造をつかむための着眼点を確認します。
・１９０～２３０語程度の短めの文章から、英語の長文を読む際に必要とされる基本的な「型」＝着眼点を身につけます。
・１文１文の細部にのみこだわるのではなく、「文全体として何を伝えているか」をつかむようにしましょう。練習を重ねることで、文の構造が複雑になっても理解することができます。
・入試でもよく出る「客観式の大意把握問題」を解き、パラグラフ全体の内容が理解できているかを確認しましょう。

## ２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

| 領域 | 聞くこと | 読むこと | 話すこと（やり取り） | 話すこと（発表） | 書くこと |
|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | ・自然なスピードで話される短い身の回りのことや身近なトピックについての英文を数回聞けば、その使用状況や概要を概ね理解できる。<br>・５文程度の短い話や会話を聞いて、話し手の意図や内容の状況を理解できる。 | ・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を大まかに理解することができる。<br>・様々な種類の英文を、その意図を理解し、読む速度を変えながら、必要な情報を大まかに読み取ることができる。 | ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて、情報を交換することができる。<br>・簡単な語や表現を使って、互いの意見交換（賛成か反対か、どう思っているかなど）をすることができる。 | ・絵、写真など視覚的補助を利用しながら、簡単な語や表現を使って身近なことについて簡単に説明することができる。<br>・簡単な語や表現を使って、自分の意見（賛成か反対か、どう思っているかなど）を述べることができる。 | ・複数の段落で、序論・本論・結論を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。<br>・自分のよく知っているトピックに関し、参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。 |

## ３ 学習評価（評価の観点と実施方法）

| 観点 | a 知識・技能 | b 思考・判断・表現 | c 主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 | ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。 | ・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 課<br>“題材名” | 領域 | 評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | Part 1<br>意味のカタマリを意識しよう！<br>（語句:ＳＶを含まない） | 読むこと | a: 名詞を後ろから説明するカタマリを見抜くことができる。<br>b: 同格の関係がわかる。<br>c: 副詞(句)の挿入に注意して、文構造を見ぬくことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a: 意味のカタマリから本文で使われている英単語の意味がわかる。<br>b: 代名詞があらわす言葉を答えることができる。<br>c: 着眼点に注意して、英文の日本語訳ができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | **中間考査** | | | |
| | Part 1<br>意味のカタマリを意識しよう！<br>（語句:ＳＶを含まない） | 読むこと | a: and/but/or は同じ働きをする語(句)と語(句)をつなぐことがわかる。<br>b: 前置詞のあとは名詞(のカタマリ)のがくることがわかる。(1)<br>c: 名詞を後ろから説明するカタマリを見ぬくことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a: 意味のカタマリから本文で使われている英単語の意味がわかる。<br>b: 段落ごとの要約ができる。<br>c: 本文の内容一致問題ができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末考査 | | | |
| 2 | Part 2<br>意味のカタマリを意識しよう！<br>（語句:ＳＶを含む） | 読むこと | a: that+完全な文は１つの名詞のカタマリと考えることができる。<br>b: 前置詞のあとは名詞(のカタマリ)のがくることがわかる。(2)<br>c: 副詞節の挿入に注意して文構造を見ぬくことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a: 意味のカタマリから本文で使われている英単語の意味がわかる。<br>b: 段落ごとの要約ができる。<br>c: 英文にある副詞句に(　)など書きこみ、構造が理解できる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | 中間考査 | | | |
| | Part 2<br>意味のカタマリを意識しよう！<br>（語句:ＳＶを含む） | 読むこと | a: and/but/or は同じ働きをする節と節をつなぐことがわかる。<br>b: 文頭が主語とは限らないことがわかる。<br>c: 後ろに続く語句を予測しながら英文を読むことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a: 意味のカタマリから本文で使われている英単語の意味がわかる。<br>b: 文全体の構造として正しいものを５文型から選ぶことができる。<br>c: and は何をつないでいるか英文に[　]を書きこむことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | 期末考査 | | | |
| 3 | Part 3<br>紛らわしい用法を区別しよう！ | 読むこと | a: it is(was)＋人＋who…は強調構文がわかる。<br>b: 名詞＋that＋SV の that は接続詞か関係代名詞がわかる。<br>c: if~は名詞節か副詞節を見ぬくことができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | | 書くこと | a: 意味のカタマリから本文で使われている英単語の意味がわかる。<br>b: 強調構文と形式主語構文の違いがわかる。<br>c: 類題から英文の日本語訳ができる。 | 定期考査<br>（ライティング）<br>小テスト<br>提出物 |
| | 学年末考査 | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度